

<「キリスト教と自然科学」関係論・参考文献>

芦名定道

A. 通史・一般

1. D.C.リンドバーグ/R.L.ナンバーズ編
『神と自然——歴史における科学とキリスト教』みすず書房。
2. G. コイン編 『宇宙理解の統一をめざして——物理学・哲学・神学からの考察』
南窓社。
3. A. E. マクグラス『科学と宗教』教文館。
4. P.C.W.デイヴィス 『宇宙はなぜあるのか——新しい物理学と神』岩波書店。
5. 芦名定道 『宗教学のエッセンス——宗教・呪術・科学』北樹出版。
6. 芦名定道他『科学時代を生きる宗教——過去と現在、そして未来へ』北樹出版。

B. 関係史（古代・中世・近代）

1. 伊東俊太郎 『近代科学の源流』中央公論社、『一二世紀ルネサンス』岩波書店。
2. E.グラント 『中世における科学の基礎づけ——その宗教的、制度的、知的背景』
知泉書館。
3. 村上陽一郎 『近代科学と聖俗革命』新曜社。
4. 藤井清久 『歴史における近代科学とキリスト教』教文館。
5. 芦名定道『自然神学再考——近代世界とキリスト教』晃洋書房。

C. ガリレオ・ニュートン

1. 伊東俊太郎『ガリレオ』講談社。
2. マーガレット・ジェイコブ『ニュートン主義とイギリス革命』学術書房。
3. フランク・E. マニユエル 『ニュートンの宗教』法政大学出版局。
4. 芦名定道 『自然神学再考——近代世界とキリスト教』晃洋書房。

D. ダーウィン・進化論論争

別紙

E. 生・生命倫理・遺伝子

1. 加藤尚武『現代を読み解く倫理学』丸善ライブラリー、『脳死・クローン・遺伝子治療』PHP 新書。
2. 東方敬信編 『キリスト教と生命倫理』日本基督教団出版局。
3. 関根清三編 『死生観と生命倫理』東京大学出版局。
4. 小松美彦・土井健司編 『宗教と生命倫理』ナカニシヤ書店。
5. 大林浩 『死と永遠の生命——そのキリスト教的理解と歴史的背景』ヨルダン社。
6. 島藺進 『いのちの始まりの生命倫理——受精卵・クローン胚の作成・使用は認められるか』春秋社。
7. 金城学院大学キリスト教文化研究所編『宗教・科学・いのち——新しい対話の道を求

めて』新教出版社。

8. 金承哲 『神と遺伝子—遺伝子工学時代におけるキリスト教』教文館。
9. フランシス・コリンズ『ゲノムと聖書——科学者、〈神〉について考える』NTT出版。
10. 教皇ヨハネ・パウロ二世回勅 『いのちの福音』カトリック中央協議会。

F. 生・環境・環境倫理

1. 加茂尚樹・谷本光男編 『環境思想を学ぶ人のために』世界思想社。
2. 岡本裕一郎 『異議あり！ 生命・環境倫理学』ナカニシヤ書店。
3. ドネラ・H・メドウズ他 『限界を超えて』ダイヤモンド社。
4. J. パスモア 『自然に対する人間の責任』岩波書店。
5. J. モルトマン『創造における神——生態論的創造論』新教出版社。
6. ゲルハルト・リートケ『生態学的破局とキリスト教——魚の腹の中で』新教出版社。
7. エリク・ドイル『現代に生きる『太陽の賛歌』——フランシスコの環境の神学』サンパウロ。
8. 富坂キリスト教センター編 『エコロジーとキリスト教』新教出版社。
9. 間瀬啓允『エコロジーと宗教』岩波書店。
10. 栗林輝夫編 『現代キリスト教倫理4 世界に生きる』日本基督教団出版局。
11. 芦名定道 『自然神学再考——近代世界とキリスト教』晃洋書房。

G. 生・こころ・脳・情報

1. 西垣 通 『聖なるヴァーチャル・リアリティ』岩波書店。
2. 生駒孝彰 『インターネットの中の神々』平凡社新書。
3. 芦名定道「インターネットの普及が新しい可能性を開いた——『広報』から見たキリスト教」『広報の専門誌 PRIR』2007. July. No.27、宣伝会議、pp.22-23。
4. 芦名定道「自然神学の新たなフロンティア——脳と心の問題領域」、『基督教学研究』（京都大学基督教学会）第27号、2007年、pp.1-19。
5. 中山剛史・坂上雅道編『脳科学と哲学の出会い——脳・生命・心』玉川大学出版部。
6. 信原幸弘・原塑編『脳神経倫理学の展望』勁草書房。
7. ポール・スワンソン『科学・こころ・宗教——科学から見る「こころ」の意義』南山宗教文化研究所。